

平成**23**年度

# まいばら市政ウォッチ

## まちの将来を見据えてきめ細かに着実な事業展開を 絆で築く元気な米原市づくり

3月3日から24日を会期に第1回市議会定例会が開催され、  
新年度の施政方針を市長が示すとともに、予算が審議されました。  
今回はその方針の概要と主要事業をみなさんにお伝えします。

### 親子の絆から、

### 「人と人の絆」、

### 「地域の絆」へと展開

市では、「絆で築く元気な米原市づくり」を重点目標に掲げ、この2年間は「絆」をテーマに市政運営にあたってきました。

平成23年度は「親子の絆」から、家族や地域の絆へとさらにその取組を拡大し、「人と人」・「地域と地域」が強固につながる、社会全体で絆が育まれるまちを目指していきます。そのためにも、平成23年度は「絆」にこだわった予算編成を行いました。また予算の中で、「産業・心・体」の3つの元気に事業を選択・集中し、米原駅周辺整備や水源の里振興などの行政課題解決に向けた施策を積極的に推進していきます。

今後も厳しい財政状況が続くと予想されますが、きめ細かに事業を展開し、市役所だけでなく、市民のみなさんと手を携えながら着実に市政を運営していきます。

## 平成23年度に取り組む 絆事業は

# 64事業

新規30件・継続34件  
合計6,865万円

「親子の絆」から、「人と人の絆」・「地域の絆」へと展開するために、新規事業の構築や既存事業の見直しを行いました。職員一人ひとりが絆を意識し、あわせて64件の「絆事業」に全庁的に取り組んでいきます。

### 親子の絆を

### 深めるために…

- \* 水源の里まいばら
- \* Oyakoo写真展
- \* 本はともたち「おはなし隊」派遣
- \* 親子でマリンスポーツ
- \* 親子で散策サイクリング
- \* ほっと安心子育て支援
- \* 出産お祝いメッセーシカード
- \* イクメン養成講座
- \* 親子で食育講習会
- \* まいばら親子自然観察会

### 地域や人と人の

### 絆を深めるために…

- \* 産業の元気・魅力発見  
市内企業・事業所の施設見学
- \* 地域防災マップ(絆マップ)作成支援
- \* ひとり暮らし高齢者  
バースデー訪問
- \* 高齢者等安心確保(絆バトン)
- \* 伊吹山テレビ  
テレビの前で校歌を歌おう



▲「水源の里まいばらOyakoo写真展」  
写真を通して、水源の意義や親子の絆の大切さを発信



▲「地域防災マップ(絆マップ)作成支援」  
地域の防災力を高めるために絆マップの作成を支援

### 新規就農者支援事業

農業後継者育成のため、若手就農者に対して必要な経費を支援して、農業振興と農村地域の活性化を推進。

144万円



### 新規 地域企業発見事業

長浜市と共同で企業説明会を開催し、湖北を支えるものづくり企業の風土、優れた製品や技術力を知る機会を提供。

20万円

### 新規 全国ほんもの体験フォーラム

旅行会社などを招いてフォーラムを開催。地域の価値の再発見と全国に誇れる「ほんもの体験」の普及を図り、体験型観光の最適地として全国にアピール。

100万円

### 米原駅東部土地区画整備事業

造成工事・石炭から搬出工事を完了して、保留地の売却を推進。売却収入は、造成工事のために借り入れていた市債の償還に。

12億4,300万円

### 米原駅東口プロポーザル事業

米原駅を核としたまちづくりを進めるため、支援業務を委託して、東口のプロポーザル事業を再開。

350万円

平成23年度も

## 3つの元気に 選択と集中

### 産業の元気

- 米原駅周辺整備事業の着実な推進による広域的な都市機能の整備
- 米原の「ほんもの」を活かした産業振興
- 農業の担い手育成による農業の元気回復

### 心の元気

- 元気でたくましい米原っ子を育てる・育つ環境づくり
- 伝統文化の承継・振興など、誇りがもてる地域づくり
- 安心・安全が実感でき、生きがいを感じられるまちづくり

### 体の元気

- 生涯現役の健康づくり
- 市民の健康を支える、保健・医療・福祉の連携による体制づくり
- 地域の絆、豊かな自然を活用した健康増進

### 新規 文化的景観保護推進事業

文化的な景観を保護し、地域の活性化につなげるため、東草野地区を国の重要文化的景観に選定されるよう、調査を開始。

200万円

### 新規 景観行政事業

市の景観を守り育てるために景観計画の策定と景観条例の制定に向けた作業に着手。

508万円

### 新規 水源の里を支える人づくり事業

過疎高齢化による地域の人材不足を補い、地域活性化の起爆剤となる人材として、水源の里指定地域に「みらい・つくり隊員」を配置。

1,363万円



### 新規 ほっと安心子育て支援事業

子育て中の保護者の孤立化や育児不安の解消を図るため、保育園が実施する一時預かり事業の無料利用券を配布。

651万円

### 放課後安心プラン事業

子どもたちの安全で安心な居場所づくりのため、放課後児童クラブを9か所で、放課後キッズを4か所で実施。クラブは土曜日や長期休暇中の早朝保育も実施。

6,176万円

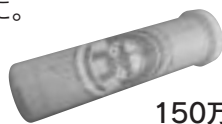
### 体育施設等の整備

夫馬・市場地先に新設する新グラウンドは、ナイター照明の設置工事を行って平成24年3月に完成予定。三友グラウンドの照明撤去工事も実施。また、双葉中学校の体育館を市民開放型体育館として整備するために実施設計に着手。

1億4,565万円

### 新規 高齢者等安心確保(絆バトン)事業

65歳以上のひとり暮らし高齢者などを対象に、プラスチック製の円筒型容器を配布。容器に持病や服薬、緊急連絡先の情報を入れておき、緊急搬送の必要が生じた際、情報伝達の補助手段に。



(イメージ)

150万円

### 新規 不妊治療応援事業

経済的負担を軽減するため、特定不妊治療の費用の一部を助成。

175万円

### 食育推進事業

「地域における伝統的食文化の継承」をテーマにフォーラムを開催するなど、郷土に根ざした食育を推進。

454万円



▲行財政改革  
市民会議のようす

市が施策を推進していくにあたっては、「協働の推進」・「情報の共有」・「行財政改革の推進」・「職員の意識改革」を念頭に、市民のみなさんの視点に立って取り組んでいきます。

平成23年度では、庁舎の在り方の検討や総合計画の後期基本計画の策定など、重要な取組が控えています。特に、市民のみなさんとの議論の活性化や情報の共有を意識して進めていきます。

## 施策を推進するための 都市経営

# 4つの視点

- 1 協働の推進
- 2 情報の共有
- 3 行財政改革の推進
- 4 職員の意識改革

## まいばら事業仕分け2010

# 10の事業で 見直し完了

23年度予算への反映  
財政効果額 984万円  
(5事業)

なお、事業仕分けは、事業を再構築する上で有効な手法であることから、平成23年度においても実施する予定です。



昨年9月、市民や外部の視点を入れて、市の「事業仕分け」を行いました。

この結果を受けて、対象とした30事業すべてについて取組方針を確認し、平成23年度の予算に対する効果額は、下記の5事業984万円となりました。残る事業については、方針や手法の見直しなど引き続き検討を重ね、すべての事業で見直しが完了するまでの追跡調査を行います。

### 市政情報発信事業 ケーブルテレビの運営事業

効果額 409万円

仕分けでは、費用対効果を向上させることの必要性が議論されました。動画と文字放送の放送サイクルを見直し、事業費を削減します。

### 交通安全対策事業

効果額 10万円

仕分けでは、関係団体の運営や補助の見直しについて議論されました。交通安全協会について、事業内容等から補助金の減額を行います。

### 「みんなにわかる みんなのまいばら予算」の作成

効果額 41万円

仕分けでは、作成は有意義であるものの、全戸配布の必要性について議論されました。自治会回覧やウェブサイトで閲覧、希望者への配布に変更し、発行部数を削減します。



### 老人生きがい対策一般事業 敬老祝い金

効果額 228万円

仕分けでは、支給区分の見直しや、高齢者の生きがいにつながる他の手法について議論されました。

祝い金の支給対象を、現行の6段階から3段階に見直します。また、高齢者とのつながりやふれあいに代わるものとして、「バスツアー訪問」や「絆バトン事業」を実施します。

### 予防接種の無料化 (高齢者季節性インフルエンザ)

効果額 296万円

仕分けでは、無料化による接種率の効果について議論されました。接種状況から80歳以上の全員無料化を廃止し、65歳以上の経済的援助が必要な生活保護世帯や、非課税世帯の無料化は継続します。

今回の特集で紹介した内容の詳細は、市の公式ウェブサイトでご覧いただけます。



お問い合わせ

政策調整課 経営戦略室 (米原庁舎)  
☎521-6626 ④521-5195